



先日、近隣の認定こども園さんが運動会であったため、少しだけ園児が一生懸命走ったり、演技をしたりしている姿を微笑ましく見させていただきました。するとキンモクセイのいい香りがしてきました。余談ですがキンモクセイは中国では九里（約4km 中国では1里は400～500m）離れたところまで香りがするところから“九里香”とも言うそうです。この時期になるとあちらこちらでキンモクセイの甘い香りを感じ

ることが多くなりますが、日本のキンモクセイは種ができないと言われていました。キンモクセイは雌雄異株、すなわち雄株と雌株が分かれているため、雌雄が近くないと種ができないのです。江戸時代に中国から渡来したといわれていますが、すべて雄株だそうです。それが全国に広がっていった理由は挿し木によって人工的に増やしていったからそうです。植物生理学の田中 修さんは、キンモクセイは「人と人との出会いの中で広がっていった代表的な植物」と述べています。（『植物のいのち』（中公新書））

近年、世界は自国優先主義の風潮が強まり、個人レベルにおいても自分たちがよければ…という空気が少しずつ広がってきていないでしょうか。“分断”がどんどんすすみ、世間ではコロナ禍も影響して、人と人の関係さえも“断ち切る”傾向にあるように思えてなりません。この4月より私自身、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会、学校支援委員会や南が丘コミュニティ・ネットの皆さんなど多くの方々とお会いしながら学校運営にご協力をいただいております。また、子どもたちの教育につきましては、学習指導要領の中で「他者と協働しながら学習していくこと」を大切にするように記載されています。

こういう現代の時代であるからこそ、自分や他人のよさを認め、友だちや地域の方も含め、あらゆる人と人とのつながりを大切にしながら、学校運営をすすめてまいりたいと思いますので、今後ともご協力を宜しく願います。南が丘小学校・南が丘地域に人間キンモクセイの甘い香りが広がっていくことを願っています。

あちこちから「あ～わかった～」という声が…



1年生の教室に入ると黒板に「ひみつを見つけることができる」と書いてあり、たし算カードが一部だけ貼ってありました。“ひみつ”や“なぞ”という言葉に子どもたちはワクワクします。子どもたちは自分の机の上にも同じようにカードを並べていきましたが途中で「あ、わかった～」と大喜びをする声があちこちから聞こえました。授業の中で「わかつた」「見つけた」という喜びは、学習すること自体が楽しく感じます。毎時間、毎時間、子どもたち全員が感動する授業はなかなか難しいですが、少しでも子どもたちに学ぶ楽しさを味わってもらおうと担任・教科担当は授業を考えています。HPには授業中の子どもたちの表情を掲載しております。全児童数・全学級数が多い小学校ですので毎日、前学級とはいきませんがまた、HPをぜひ、のぞいていただければ嬉しいです。

た」「見つけた」という喜びは、学習すること自体が楽しく感じます。毎時間、毎時間、子どもたち全員が感動する授業はなかなか難しいですが、少しでも子どもたちに学ぶ楽しさを味わってもらおうと担任・教科担当は授業を考えています。HPには授業中の子どもたちの表情を掲載しております。全児童数・全学級数が多い小学校ですので毎日、前学級とはいきませんがまた、HPをぜひ、のぞいていただければ嬉しいです。